

## 六本木ヒルズ「東京シティビュー」

12月23日、自治体問題研究所の理事会に出席するため東京に行った。せっかくの機会なので朝早く出発して、品川経由で六本木ヒルズに向かった。当日は快晴であり、新幹線から富士山がよく見えた。それと道路公団の民営化問題で話題になる第2東名の橋脚もデジカメにおさめることができた。道路公団問題については政府案も出されたので、別にレポートしてみたい。

さて、六本木ヒルズは広大な敷地を再開発したもので、5つのエリアから構成されている。時間もないので、とにかく「六本木ヒルズ森タワー」に行き、上から東京を眺めることにした。このタワーはヒルズの中心に位置していて、53階建ての巨大なビルである。「森美術館」にも入館できるチケットを1500円で買って、52階にある「東京シティビュー」という展望台に直行した。先月レポートした関西空港のりんくうタウンの「パノラマ情報センター」とは違って、朝の10時頃というのに多くの入場者がいた。観光客らしい人が多く、東京の新しい「観光スポット」という感じがした。

六本木ヒルズは今年4月25日に開業して、来街者は半年で2500万人前後に達するという。これは東京ディズニーランドとディズニーシーをあわせた02年度の年間入場者数と肩を並べる規模である。来街者の4割はリピーターという調査もあり、順調な滑り出しのようだ。

海拔250メートルから眺める東京は、快晴であったこともあり、遠く富士山まで見渡すことができた。デジカメで写真を撮ったが、新宿副都心や皇居・国会議事堂などを見下ろし、東京の現在を一望することができた。



(12月26日 記)